

かざぐるま

ひと 未来 輝いて

2026 March

NO. 112



特別養護老人ホーム福寿荘

トピックス

- 「長期経営計画に基づく前期5か年実行計画」概要
- 50周年希望が丘祭を開催しました
- 総合コロニー希望が丘移転改築について
- 地域の基幹相談支援センターとして
- 生産性向上の取組
- 自閉症・強度行動障がいに係る研修
- ワークショップ明星園 自主製品のご紹介

「長期経営計画に基づく前期5か年実行計画」概要

事業団では、これまで「将来構想（平成28年度から令和7年度までの経営計画）」と、将来構想に基づく前後期の5か年実行計画に取り組んできました。

これらの成果を踏まえ、新たに今後10年間を見据えた「長期経営計画」を策定しています。そして、令和8年度からは、この長期経営計画を具体的に進めるための「前期5か年実行計画」がスタートします。

本計画は、事業団の使命と役割を改めて確認し、社会環境の変化に対応しながら持続的な発展を目指すための指針となるものです。

本号では、その概要版として基本的な考え方と主な内容をご紹介します。

【計画の基本方針】

1 利用者主体のサービス

利用者一人一人の個別ニーズに応えるために、高い専門性や人権擁護意識を持ち、利用者の意思決定を最大限尊重しながら、セーフティネットとして利用者の自立した生活の実現を目指します。

2 働き甲斐のある職場づくり

職員が高いモチベーションとやりがいを持ち続けられるよう、その成長を支援し、能力を最大限発揮できる職場環境づくりを目指します。また、事業団の将来を担う人材の確保・育成を行い、定着を図っていきます。

3 安定した経営基盤の確立

安定した法人運営を継続するため、変化する福祉ニーズへ柔軟に対応していきます。事業団のスケールメリットを生かした事業展開及び地域の福祉サービスの需要と供給のバランスなども注視し、ニーズの変化に応じた「スクラップ&ビルド」を進め、適切かつ効率的な事業運営を目指していきます。

4 地域共生社会の実現

地域住民の方々の暮らしや生きがいを支える一員として、安心して生活できる社会を目指していきます。

【前計画からの取組の継続】

1 拠点施設の構築と地域貢献

現在整備中の「希望が丘しおり」は「サポートセンターおきたま」の機能を包含し、西置賜地方の拠点施設としての整備を進めており、また、令和11年度に寒河江市へ移転・改築予定の「希望が丘まつのみ寮」は、これまで事業団が障害者支援施設を設置していなかった地域に新たに設けられる施設です。地域の状況やニーズを丁寧に把握し、地域に貢献できるような支援体制の構築を進めていきます。

2 機能強化と多くの支援を要する人への対応

「山形県移譲社会福祉施設機能強化等支援事業費補助金」の終了後も、自閉症・行動障がいのある方などのニーズに的確に対応できるよう、適切な人員配置に努めます。

3 地域移行・定着の推進

重度障がい者を対象とするグループホームによる安心して地域で生活できる住環境が整備されましたが、現在ホームの老朽化という課題があります。将来的な利用ニーズや利用者の重度化に対応できる支援者の安定的確保の可否などを適切に判断しながら、必要なホームの整備を進めていきます。

4 経営基盤の安定化と自立的経営の推進

法人運営への県の財政支援の大幅な縮小を見据え、経費削減や各施設事業所の利用率の向上など、健全経営に努めます。

5 組織の強靱化に向けた職員配置と組織づくり

利用者ニーズの多様化・複雑化が進む中、必要な専門職等の継続配置と継続的な人材育成の強化に努めていくとともに、地域との連携や情報収集体制の強化を図り、外部環境の変化に迅速に対応できる体制づくりを進めていきます。また、補助金終了後も持続可能な組織づくりを推進するため、戦略的な職員配置と業務の効率化を両立させる体制整備を進めます。

6 人材の確保と働きがいのある職場づくり

少子化による労働力不足がより深刻化していくなか、福祉分野では人材確保と定着が喫緊の課題であり、採用活動を強化するとともに、個々人のキャリア構築支援や業務改善、生産性向上に向けた取組を進めます。

前期5か年実行計画の概要

◆期間

令和8年度～令和12年度
10年計画の前半5年と位置づけ

◆目的

人口減少・ニーズの多様化等の環境変化への対応
質の高いサービスと健全経営の維持・向上

◆基本方針

- 1 利用者主体のサービス
- 2 働き甲斐のある職場づくり
- 3 安定した経営基盤の確立
- 4 地域共生社会の実現

◆前計画からの取組の継続

- 1 拠点施設の構築と地域貢献
- 2 機能強化と多くの支援を要する人への対応
- 3 地域移行・定着の推進
- 4 経営基盤の安定化と自立的経営の推進
- 5 組織の強靱化に向けた職員配置と組織づくり
- 6 人材の確保と働きがいのある職場づくり

◆事業別計画

既存施設の再編、ユニット型個室化の検討（特別養護老人ホーム） 指定管理への応募の検討・判断（養護老人ホーム）
事業の方向性の検討・判断（居宅介護支援事業所） 希望が丘の移転改築の推進（障害者支援施設）
拠点の移転・再編（相談支援、生活介護、就B、地活センター） 住み替えによる住環境改善、ニーズに応じた事業の再編（共同生活援助）
再犯防止相談支援事業の実施（定着支援センター） 今後の施設のあり方について県と協議（救護施設）

◆事業推進部門

社会の変化に対応したサービス提供（職員配置、新規事業）、生産性の向上と業務改善、利用者も職員も共に安心して過ごせる施設体制
戦略的な情報の収集・発信、包括的支援体制、地域共生社会の実現に向けた社会貢献

◆人事組織部門

人材の確保、人材の育成、組織体制の充実・強化、職員の処遇改善、就業環境の整備

◆財務経営部門

経営分析を通じた経営目標値の設定、改築・改修等施設整備と財源確保、業務効率化につながるシステムの検討、具体的なコスト削減策の推進

◆収支改善計画

各事業所別に設定した目標利用率の達成により収支黒字化を図り、自立的経営を確実なものとする。

◆計画の推進体制

専務理事を本部長とする推進本部のもと、3つの作業部会や各施設が連携して計画の遂行と進捗管理を行い、毎年計画の達成状況等について評価・検証を行う。令和10年度には収支状況を含め、中間評価を行う。中間評価により計画の見直しが必要な場合は、人件費も含め見直しを行う。

50周年希望が丘祭を開催しました

希望が丘50周年記念イベント「希望が丘祭」が令和7年11月9日、希望が丘体育館及びその周辺で盛大に開催されました。今回のテーマ「感謝と共に、未来へ羽ばたく」の言葉どおり、地域の皆様への感謝と、これからの希望が丘の歩みを感じられる1日となりました。会場にはキッチンカーや手芸品など多彩な出店が並び、大学芋、カレー、ラーメン、クレープなど、利用者・地域の方ともに思い思いの味を楽しんでいました。午後にはニセキンさん、佐藤ゆみさん、一木ひろしさんによるものまね歌謡ショーが行われ、会場は笑いと拍手に包まれました。夜には打ち上げ花火が夜空を彩り、50周年を祝うにふさわしい華やかな締めくくりとなりました。多くの方にご来場いただき、あたたかい交流が生まれた記念の年となりました。

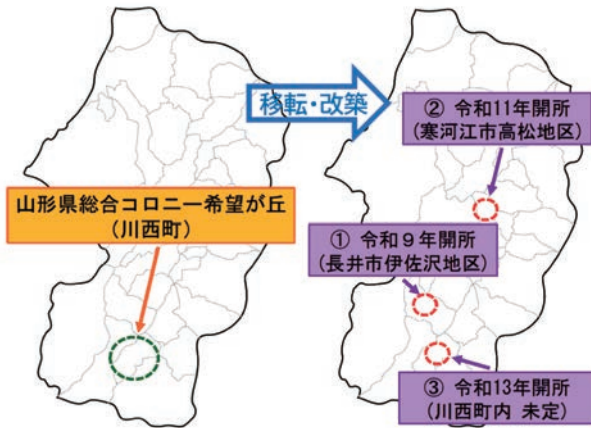


山形県総合コロニー希望が丘の移転改築

昭和49年に設立された総合コロニー希望が丘の建物等の老朽化が進んでいるため、移転改築の計画を進めています。複数年度にわたり、3つの地域へ分散して施設を建設していく予定です。

利用者様にとって快適な生活の場、職員にとって働きやすい職場環境、新しい地域の皆様にとって親しみやすい施設となるように、準備を進めてまいります。

【移転改築のイメージ】



【一つ目の施設 (長井市に建設予定) 完成イメージ図】



【移転改築のスケジュール (予定)】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
長井市	← 設計	← 工事建設	← 建設	← 開所				
寒河江市			← 設計	← 工事建設	← 工事建設	← 開所		
川西町					← 設計	← 工事建設	← 工事建設	← 開所

地域の基幹相談支援センターとして

当法人では、ゆあーずが山形市から委託を受け「山形市基幹相談支援センター」(6か所のうちの1つ)の役割を令和7年4月より開始しております。

このたび令和8年4月からは、おきたまでも長井市及び飯豊町から委託を受け、「長井市基幹相談支援センター」及び「飯豊町基幹相談支援センター」を担うことになりました。

基幹相談支援センターは、障がいのある方やそのご家族、関係機関からの相談に応じる地域の相談支援の拠点です。住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、相談支援事業所や行政、医療、福祉、教育などの関係機関と連携しながら支援を行います。

同センターでは、障がい福祉サービスの利用に関することをはじめ、日常生活での困りごと、将来の生活への不安、家族に関する悩みなど、さまざまな相談をお受けします。また、地域の相談支援体制の充実に向けて、相談支援事業所への助言や研修、関係機関とのネットワークづくりにも取り組んでまいります。

今後は、皆さまにとって身近で相談しやすい窓口となれるよう、地域に根ざした支援を進めてまいります。お困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。

【相談支援事業所おきたま】

- ・電話：0238-88-5357
- ・所在地：山形県長井市高野町二丁目3番1号 置賜総合支庁西置賜地域振興局内
※令和9年度より長井市伊佐沢地区新施設に移転予定

生産性向上の取組

少子高齢化や生産年齢人口の減少等により、社会全体で労働力不足が課題となっている中、職員にとって働きやすい環境を整え、これからも魅力的な事業団であるべく、組織として生産性向上の取組を推進しています。ここでいう生産性向上の取組とは、単に業務の効率化を図るだけでなく、利用者支援の質の向上を目的としています。

①生産性向上に係る研修

山形県介護生産性向上総合支援センターへ講師をお願いし、福祉分野における生産性向上とはどのようなものなのかを研修を通して学びました。併せて、先進的な他法人よりお話を伺い、活動を身近に感じることができました。

②プロジェクトリーダー育成研修

各事業所で取組を推進していく職員を育成する目的で開催しました。その際、株式会社ヤマグチ 山口先生より、『鉢植えモデル』という考え方の説明があり、各事業所と事務局とが同じ方向を向いて取組を進めることの重要性を学びました。(鉢植えモデル 図)



鉢植えモデル (ふくしDXの土台となる考え方)

③生産性向上に係る伴走支援(グループコンサル)

事業所の抱える悩みにコンサルタント支援を受けられるよう、上記の山口先生に伴走支援をお受けいただきました。希望した事業所においては、状況に応じて今後の進め方などを具体的に示していただき、活動の効果も見え始めています。

④各事業所からの報告

上記伴走支援の報告会や実践報告会において、各事業所で実践したさまざまな取組の報告がありました。忙しい中ではありますが、働きやすくなるにはどうしようと、いろいろと知恵を絞って活動を進めており、他事業所でもそれらの取組を参考にできるよう、情報共有を図っています。

⑤事務局での検討

記録業務の負担を軽減できないかと、まずは議事録作成ツールの導入を検討しました。これからも法人全体に係る課題を抽出しながら、事業所の負担を軽減できるよう、バックアップ体制を整えていきます。

始まったばかりの活動ですが、大事なことはPDCAサイクルに載せること。継続的に評価しながらより良い活動へつなげていけるよう、これからも法人一丸となって取り組んでまいります。

自閉症・強度行動障がいに係る研修

自閉症や強度行動障がいに係る専門的な知識を深め、より良い支援ができる職員を育てるために、よこはま発達グループ 佐々木康栄氏を講師としてお招きし、今年度初めて継続研修（講義→実践研修→各施設での取組・報告）を行いました。

	研修日程	内 容	研修方法
①	令和7年9月18日(木)	講義「自閉症支援の楽しさ」	WEB
②	令和7年10月7日(火)	実践研修 ・アセスメント ・教材作成 ・実践 ・評価、分析	集合
③	令和7年12月10日(水)	各施設での取組報告①	WEB
④	令和8年1月15日(木)	各施設での取組報告②	WEB

①「自閉症支援の楽しさ」と題し、佐々木先生より支援に対する考え方や実際に関わっている事例を紹介いただきました。

②では、利用者の方にモデルとしてご協力いただき、実践形式の研修を行いました。受講した職員からは、「支援者側の推測や個人的な印象からの支援ではなく、具体的で根拠のあるアセスメント、支援をしていくことが大切と感じた」「支援を構築する上での専門的知識が広がった」「他施設の職員と意見を交わしながらの研修は非常に刺激をもらった」等の感想がありました。

③、④では、各施設での取組について報告会を行い、佐々木先生よりご助言をいただきました。報告会のアンケートでも、「先生のご見解や各施設での実践を通しての気づきを聞いて勉強になった」「利用者の行動の理由や原因について検討することの重要性を再認識した」「考えすぎるよりもまず行動し、トライ＆エラーで検証することも大切であることを教えていただいた」等の感想があり、次年度も同様の研修を希望するとの意見も多くありました。今後も講義などの知識を得るための研修とあわせて、実践を通して学ぶ研修を継続し、利用者支援の質の向上に努めていきたいと思っております。お忙しい中、いつも優しくご助言いただいた佐々木先生に感謝申し上げます。



集合研修の様子(受講者)



各施設での取組報告会 (WEB)

ワークショップ明星園 自主製品のご紹介

ワークショップ明星園では、これまでの商品に加え、利用者様が新たにデザインしたキャラクター商品も販売しています。

新商品のチャーム付きボールペンは、利用者様のオリジナルデザインをもとに製作したチャームが付いており、特におすすめの一品です。

お気軽にお問合せください。



【お問合せ】
山形県ワークショップ明星園 〒990-0811 山形市長町728番地の2
TEL: 023-684-3781 FAX: 023-684-3876

山形県社会福祉事業団ホームページでは、施設情報や職員採用情報を随時更新しています。

URLはコチラ↓
<https://www.ysj.or.jp>



山形県社会福祉事業団では
感染対策を徹底しています



※掲載写真の一部は、撮影時のみマスクを外しています。